



各地区のPTA研究大会（研修大会）が行われました。

毎年、高岡地区・吾川郡・土長南国地区のPTA連合会（連合協議会）がPTA研究大会を行っています。今年度も各地区において、単位Pの実践発表があったり、地域団体や子どもたちのオープニングセレモニーがあったりとそれぞれの持ち味を出しながら、地域の良さやPTA活動の共有を図っていました。また、基調講演では、各地区の特色を生かして、多様なお話を聞くことができました。

高岡地区は、元関脇の豊ノ島関から「豊ノ島としての18年」と題して、相撲人生から学んだことについて、主に質問形式で参加した大人や子どもたちにお話をしてくれました。「人の夢は決して馬鹿にはいけない」「結果がでないとき、くじけそうなとき」「理想的な指導者とは」等々、子供から大人まで今後の人生で大切にしたいことが得られたと思います。

吾川郡は、田村千賀氏（株式会社千クリエイティブカンパニー 代表取締役）から「子どものやる気を引き出し、成長を促すために大人ができること～よさこい踊りの現場から～」と題して、主に「子育て」について話をしてくれました。変化する時代の中でも、変わらないものはある。「子どもに対する声かけが大事」、家庭・地域・学校のあらゆる場面で、大人が子どもに対してプラスな声かけをすることで、子どもに「自信の種」ができて、地域に育ててもらったと思えるようになる。その思いが、やがて何らかの形となって地域へ還元され、持続的な地域になることが期待されるという内容でした。実際に、よさこい踊りを通して、いの町へ恩返ししている事例を紹介していただきました。

土長南国地区は、江田明弘氏（佐賀県PTA連合会顧問）から「そもそもPTA」と題して、理論や哲学に基づいて話をしてくれました。PTAは子どものためにと良く言われるが、実はPTA活動を通して関わった大人が、より良い生き方につなげていたり、学び続けていたりできている。良い事ばかりが起こり続けるわけではないが、PTAという期間限定の社会活動を通して、大人が楽しんでやっている姿が最終的には子どものためになったり、良き見本となったりするという内容でした。吾川郡の講師、田村千賀氏からも「子育ては、大人を育てる」という話があり、共通している部分だと感じました。

各单位Pで研修を行っているところもあると思います。内容や講師でお困りの場合があったり、うえの内容に興味があったりする場合は、参考にいただければ幸いです。



中部教育事務所管内の社会教育活動を発信します

この「社教NFTかわら版」はみなさんの地域や社会教育活動を応援する情報誌です。社会教育に関わる活動情報がありましたらぜひお知らせください。

連絡先 高知県教育委員会事務局 中部教育事務所

TEL 088-893-6166 FAX 088-893-6167 E-mail 310305@ken.pref.kochi.lg.jp

